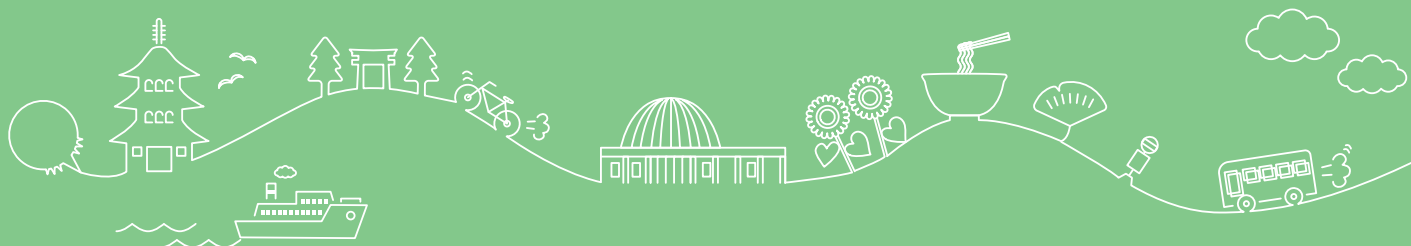


第2章 基本構想

第8次笠岡市総合計画

- 1 将来ビジョン
- 2 将来ビジョンに向けた基本理念
- 3 施策目標

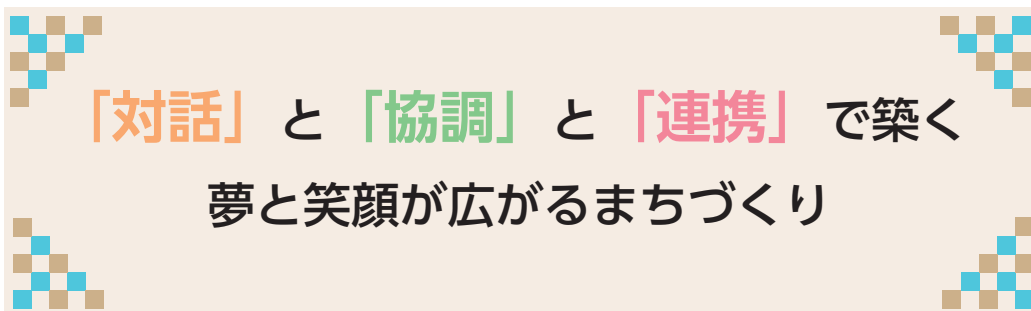


KASA●KA

1 将来ビジョン

～ 令和15年度(2033年度)の実現を目指す将来都市像 ～

令和15年度(2033年度)を計画目標年度とする本計画では、笠岡市の目指す将来都市像を次のように掲げます。



少子高齢化と大都市圏への人口集中により、他の地方都市と同様に、本市においても人口は減少し、かつては約7万人いた人口も、現在は約4万人に減少しています。

また、財政状況に関しては、令和6年度に推計した今後10年間の収支推計において年平均約10億円の財源不足が発生し、財政調整基金が枯渇する見込みとなったため、「財政健全化プラン」を策定し、危機感をもった取組を進めているところです。

そのような大変厳しい状況の中、私たち市民は、これまでの先人たちが築いてきた歴史、文化を大切に、次の世代の子どもたちに誇りをもって引き継ぐ責務があります。

これからの8年間のまちづくりは、本市で暮らし、営み、働く方々と会話を重ね(「対話」)、共生する方法を探し(「協調」)、市民・企業・団体など、本市に関係するすべての人々が一体(「連携」)でまちづくりを進めていく必要があります。

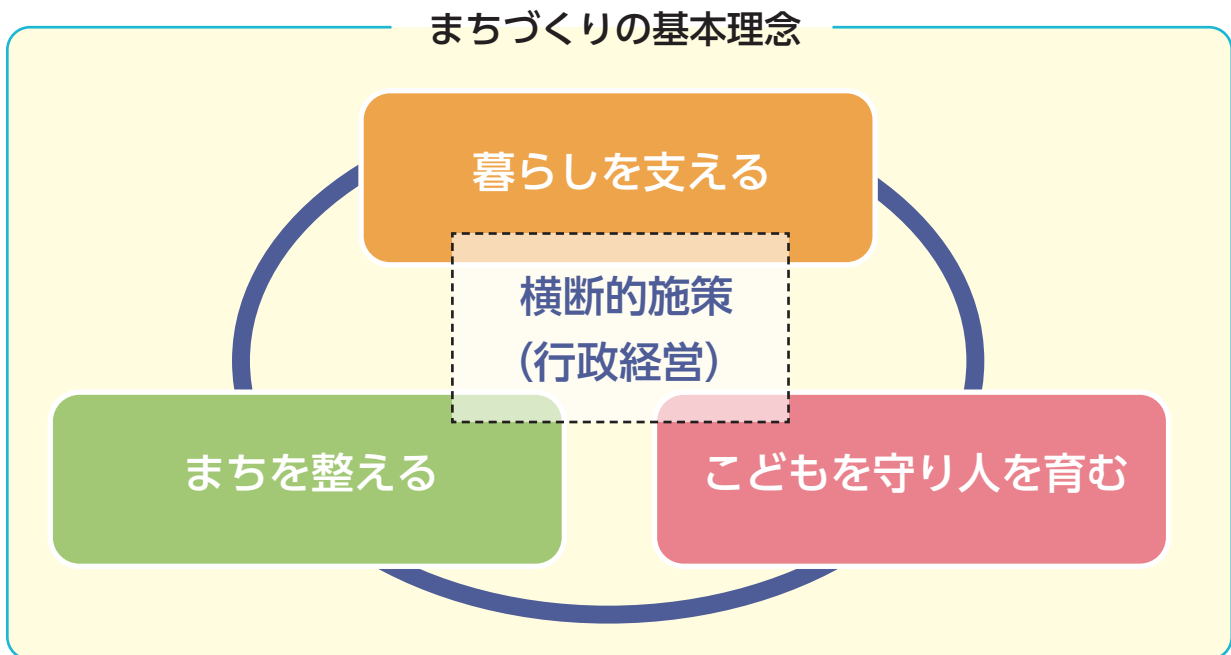
そのため、本計画では、本市に関わるすべての主体が「夢」に向かって、「笑顔」が広がり、暮らしてよかったと思えるまちづくりの実現に向けた取組を展開していきます。



2 将来ビジョンに向けた基本理念

まちづくりの基本理念は、笠岡市においてまちづくりを進めていく上で、その根底にある基本的な考え方であり、市民みんなで共有すべき大切な考え方です。

本計画では、次の3つの基本理念に、横断的な施策を1つ加えて、まちづくりの基本理念とします。



基本
構
想

◎ 暮らしを支える

地域内経済循環の向上により、すべての市民ひとりひとりが、日々の暮らしの中で豊かさを実感でき、住み慣れた地域で、共に支え、助け合いながら、その人らしい生活を続けられるよう、暮らしを支えます。

◎ まちを整える

市民の暮らしや産業の発展に不可欠な道路・治水・港湾・上下水道などの社会基盤を整備し、市の豊かな自然環境を守り、市民が安全・安心かつ快適に暮らすことができる地域社会を構築することで、まちを整えます。

◎ こどもを守り人を育む

こどもが健やかに育ち、子育て家庭が安心してこどもを産み育てられる環境を整備するとともに、「共に未来を拓く、『たい』のあふれる教育」の推進により、こどもを守り人を育みます。また、全世代の生涯にわたる学びにより、個人の成長だけでなく地域の力を育むことで、社会全体の活性化を図ります。

3 施策目標

～ 基本理念に基づく施策目標 ～

前記のとおり，本計画では，3つの基本理念と1つの横断的施策を掲げました。

これらの基本理念に基づき，各分野の施策を推進するため，次のように施策目標を定めます。

基本理念	分野	施策目標
暮らしを支える	産業 医療 保健福祉	地域内経済循環の向上により，市民ひとりひとりが豊かさを実感できるまちへ
		すべての人々が，住み慣れた地域で，共に支え，助け合いながら，その人らしく暮らし続けられる社会へ
まちを整える	都市基盤 生活環境	市民の暮らしや産業の発展に不可欠な道路・治水・港湾・上下水道などの社会基盤を持続可能な形で整備
		市の豊かな自然環境を守り，市民が安全・安心かつ快適に暮らすことができる地域社会を構築
子どもを守り人を育む	子育て 教育	こどもが健やかに育ち，子育て家庭が安心してこどもを産み育てられる環境を整備
		笠岡で学び「たい」，笠岡で学んでよかったと思える教育・生涯学習の推進と環境の整備
	行政経営	3つの基本理念に関わる横断的な施策

暮らしを支える

施策
目標

地域内経済循環の向上により、市民ひとりひとりが豊かさを実感できるまちへ

産業分野においては、近年の経済を取り巻く環境の大きな動向として、変わらない「人手不足」や「後継者問題」、「労働生産性の伸び悩み」などの課題を抱えています。

そうした中、市民ひとりひとりが豊かさを実感できるためには、安定した仕事があることが不可欠であり、また豊かな笠岡のまちづくりには域内産業の振興も重要です。

そのため産業分野では、だれもが働ける雇用の創出や企業誘致の推進に加え、地域内の経済循環の向上を図るため、地場産業の育成、新規事業の開拓、事業承継、地域の資源を活用した観光振興を推進します。

施策
目標

すべての人々が、住み慣れた地域で、共に支え、助け合いながら、その人らしく暮らし続けられる社会へ

医療・保健福祉分野においては、人口減少・少子高齢化が著しく進む中で、人と人とのつながりを大切にしながら、健康で心豊かに生活できる社会をつくっていくことがますます重要になってきています。

高齢者や障がい者などすべての人々が安心して暮らすことができ、共に支え、助け合いながら、その人らしく暮らし続けられる社会の実現を目指します。

まちを整える

施策
目標

市民の暮らしや産業の発展に不可欠な道路・治水・港湾・上下水道などの社会基盤を持続可能な形で整備

都市基盤分野においては、安全で健全な上下水道の管理運営や、道路・河川・港湾・漁港の適切な維持管理及び整備により、市民の暮らしや産業の発展に不可欠な社会基盤を持続可能な形で整備します。

また、人口減少・少子高齢化の進行により、住民生活を支えるサービスや地域活力の低下が懸念される中で、魅力的なまちづくりと定住促進や市民の移動手段の確保によりまちを整えます。

まちを整える

施策
目標

市の豊かな自然環境を守り，市民が安全・安心かつ快適に暮らすことができる地域社会を構築

持続可能な社会の実現が求められている中で，生活環境分野においては，快適な生活環境を守ることとあわせて，これまで育まれてきた海・山の保全などを通して，市の豊かな自然環境を守ります。

また，人と人がつながり，地域が支え合うことが重要だと考え，地域コミュニティの充実を図るとともに，従来の市町村という枠組みを超えた行政サービスの推進と圏域での協力体制を強化することで，市民が安全・安心かつ快適に暮らすことができる地域社会を構築します。

こどもを守り人を育む

施策
目標

こどもが健やかに育ち，子育て家庭が安心してこどもを産み育てられる環境を整備

近年の少子化・高齢化の急速な進行に伴い，子育てへの不安感や孤立感を抱える保護者の増加など，子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。また，性別による固定的な役割意識など，いわゆるアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)が，若者のニーズや価値観と合わず，希望する生活の実現に悪影響を与えている可能性があり，その解消が求められています。

そうした中，子育て分野においては，すべてのこどもの成長を支える環境をつくとともに，安心して子育てをするための家庭支援を行い，子育てを地域で見守り支えあうまちづくりを推進することで，こどもが健やかに育ち，子育て家庭が安心してこどもを産み育てられる環境を整備します。

施策
目標

笠岡で学び「たい」，笠岡で学んでよかったと思える教育・生涯学習の推進と環境の整備

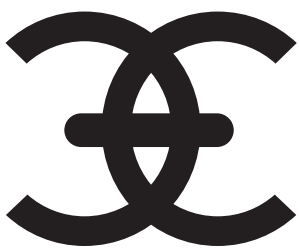
こどもを取り巻く環境は，少子高齢化・高度情報化・グローバル化の進展，地域社会や家族のあり方の変容などにより，大きく変化しています。

そのため教育分野においては，自立と共生を目指した「たい」のあふれる学校教育，楽しさや喜びにつながるスポーツの推進，文化・芸術の振興と探究や生涯学習環境の整備により，笠岡で学び「たい」，笠岡で学んでよかったと思える教育の推進と，全世代の学びの環境整備を図ります。

3つの基本理念に関わる横断的な施策

行政経営分野においては、厳しい財政状況に加え、行政課題についても多様化・複雑化している中で、将来に向けた持続可能な財政運営、行政運営が求められています。

そうした中、公共施設の適正な管理集約，安定した財政基盤の確立，DXを活用した業務の効率化による市民サービスの向上，行政改革と人材育成の推進により，基本理念の実現を図ります。



KASAOKA CITY